

令和 6 年度 危機管理マニュアル

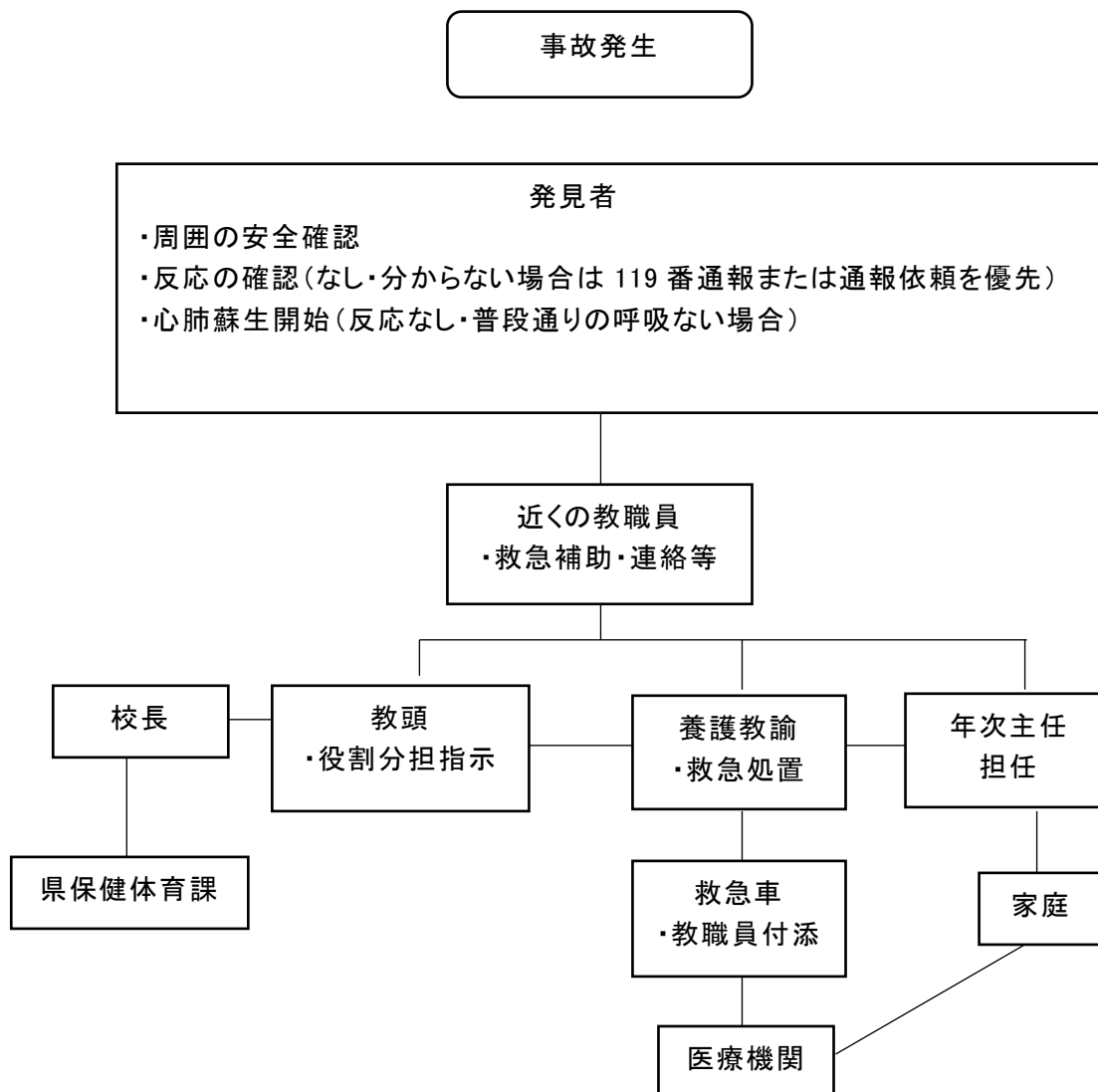
目 次

1	緊急対応・・・・・・・・・・・・・	P1
2	交通事故・・・・・・・・・・・・・	P2
3	不審者対応・・・・・・・・・・・・・	P3
4	火災発生時の対応・・・・・・・・・・・・・	P4
5	地震発生時の対応・・・・・・・・・・・・・	P5
6	原子力災害時の対応・・・・・・・・・・・・・	P6
7	弾道ミサイル飛来に伴う学校の対応・・	P7、8

茨城県立荃崎高等学校

1 緊急対応

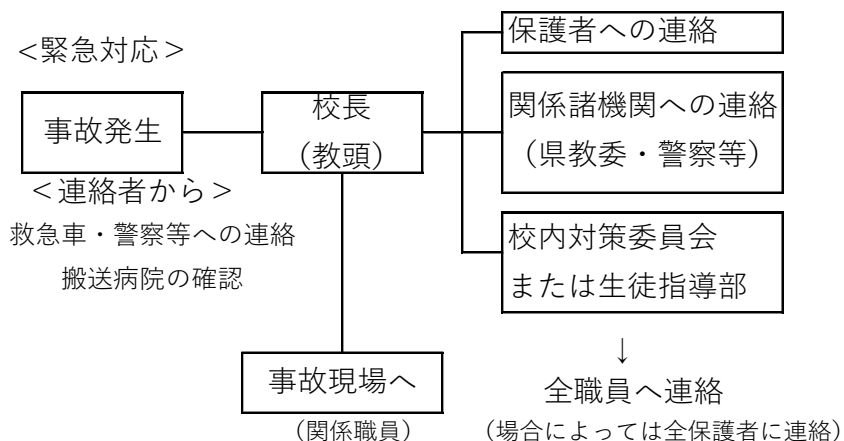
(1) 事故発生時の対応手順



(2) 負傷及び疾病者の発見と通報

- ①発見者は、先ず最も身近にいる教職員に通報する
- ②通報を受けた職員は、ただちに養護教諭又は保健担当者・担任に通報するとともに、事故現場に駆けつける
- ③養護教諭及び連絡を受けた教員は応急処置を行う
- ④状況によって、救急車の要請をするか保護者に連絡をし、病院受診を勧める。

2 交通事故



【1】初期対応

事故の第一報が学校に入った後、未通報の場合は、必要に応じて 110・119 番通報した上で、交通事故の現場に急行して事態を把握します（生徒等の状態、事故の状況など）。ほかの教職員と連携しながら、以下の対応を迅速に行います。

- 負傷者がいる場合の応急手当及び安全確保
- 保護者への連絡
- 当事者となった生徒等の気持ちを落ち着かせる
- 周囲にほかの生徒等がいる場合は、現場から離れるなど、安全確保を指示する
- 教育委員会等への連絡

【2】二次対応と対策本部

事故の情報を整理し、警察・医療機関と緊密に連携しながら、容体の把握、保護者への対応、今後の対応策、他の児童生徒等への指導などを検討します。重大かつ深刻な交通事故の場合は、緊急の対策本部を設置し、迅速な対応を講じます。

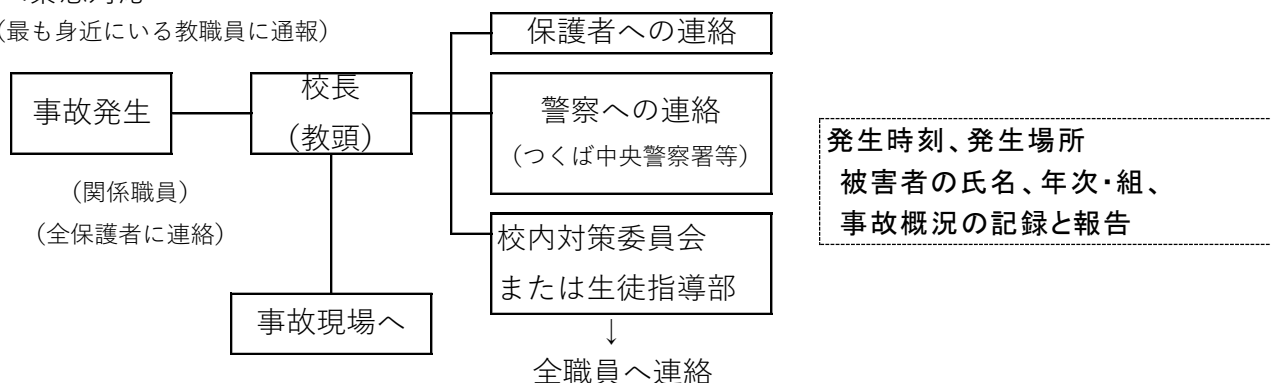
【3】事故状況の調査・報告

事故発生状況や事故原因に関わる事実を調査・記録し、教育委員会等へ報告します。記録した情報は、再発防止に向けた安全管理・安全教育を再検討するために役立てます。

3 不審者

<緊急対応>

(最も身近にいる教職員に通報)



- (1) 不審者らしい者を発見した場合には、状況をよく判断し、確認のために声かけするとともに、迅速に関係者に連絡する（複数で対応）
- (2) 受付で胸章を渡し、校内滞在中、来校者であることを明示させる
- (3) 校内巡視を強化する

確認の方法

- 1 いつでも逃げることの出来る間合いをとり、声をかける
 - (1) あいさつ
「おはようございます」「こんにちは」等
 - (2) 用務先の確認
「どちらにご用事ですか?」「誰（先生）に用事がありますか」
 - (3) 駐車場への誘導
「来客用の駐車場にお駐め下さい。」
- 2 必要に応じ、関係先に連絡する
(注意) はじめから明らかに凶暴であると判断できる時や、武器を持っているとき、暴走行為をしているときは声かけしない

<早期対応>

(1) 生徒の指導

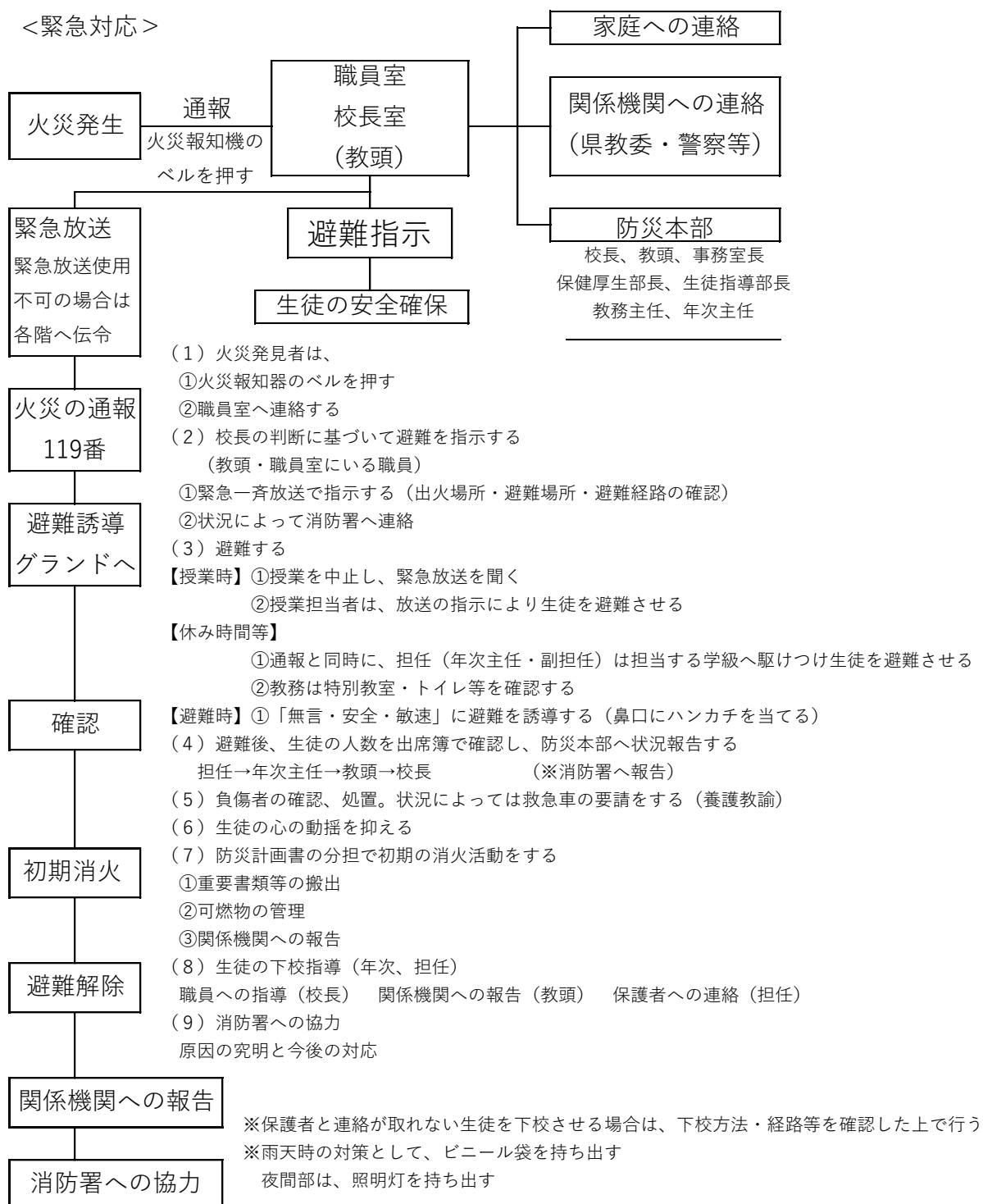
変質者・不法侵入者にあつた場合の対応→最も身近にいる教職員に通報、逃げる、大声を出す、携帯電話などを利用して警察への緊急連絡等

- ①プライバシーの保護(被害にあつた場合)
- ②担任は、被害生徒の様子に注意し、保護者と連絡を取りながら援助する

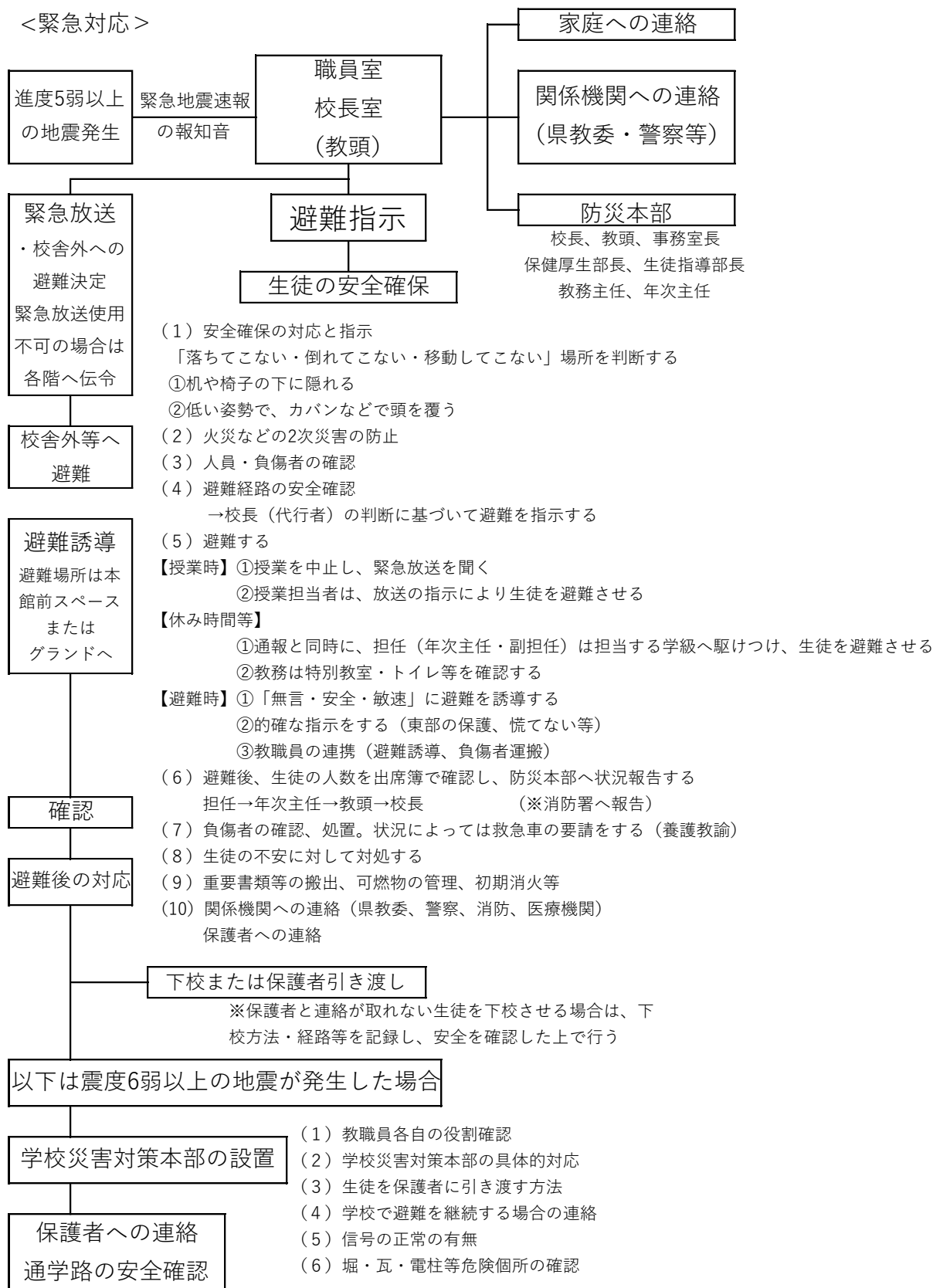
(2) 関係諸機関への対応

- ①警察・駐在所への緊急連絡体制確立
- ②事故報告書の提出(保健体育課)
- ③不審者情報インターネット掲示板への掲載

4 火災発生時の対応



5 地震発生時の対応



6 原子力災害時の対応 I

授業時・屋内退避

1 事故報告・警報

本部長 学校対策本部設置 指示

2 学校対策本部設置 事務室

3 県からの指示(FAX)屋内退避

4 屋内退避開始

(1) 校長指示

(2) 教頭全職員に指示 緊急放送

「()で原子力事故がありました。災害のおそれがあるので全員校舎の中に退避しなさい。」

「窓、カーテンを閉めなさい。換気扇を止めなさい。入口、非常口を締めなさい。トイレの窓、換気扇は近くのクラスで閉めなさい。」「生徒は、HRに待機して、指示を待ちなさい。」

「特別棟の戸締まりもお願いします。」 (* 以上2回繰り返し)

(3) 屋内退避

生徒は、HRに待機して、指示を待つ

外にいる生徒・教員は近い入口から本館のクラスへ

校庭・体育館

特別教室の生徒は2階通路から本館のクラスへ

本館・特別棟の戸締め

(4) 教員

① 教科担任生徒に指示(教室で退避) ……職員室 教頭へ報告

② 空き時間の教員は職員室、通路、階段の窓等の戸締め 以上は、「授業実施中」の場合
「休み時間中」は次の③から

③ クラス担任クラスの状況把握

(屋内退避者数、欠席者数、所在不明者の確認) ……職員室 教頭へ報告

④ 警備係、生徒指導係の副担は全ての箇所の戸締まりを確認(放送で指示)

⑤ 県へ報告 電話及びFAX

本部長……避難状況について

⑥ 職員会議(職員室) 事故の内容・生徒への指示内容の確認

⑦ HR 生徒に指示連絡

5 屋内退避

「原子力災害時の対応体制」による

校外学習中の教員・出張中の教員との連絡

本館出入口警備(屋内退避中は生徒の出入り禁止)

保護者への連絡

職員会議……随時 情報伝達・生徒へ指示 生徒の状況

6 解除

(1) 校長 指示

① 職員会議 事故の内容・生徒への指示内容の確認

② 放送 「屋内退避が解除されました。生徒はHRで担任の指示を受けてください。」
(* 2回繰り返し)

③ HR・生徒に指示(解除)

(2) 下校指導

方法、保護者の迎えの有無、下校者の確認

7 弾道ミサイル飛来に伴う学校の対応

	対 応 内 容	
事前	○生徒等に対し、弾道ミサイル飛来に伴う行動等について指導する 〔指導内容〕 ① 弾道ミサイルの特徴 ・弾道ミサイルは発射から極めて短時間で着弾すること ・ミサイル着弾時には爆風や破片などによる被害が想定されること ② 弾道ミサイル飛来等に関する緊急情報の発信について ・全国瞬時警報システム(Jアラート)、防災行政無線や緊急速報メール等があること ③ 発生時の行動方法について ・状況を判断し、自ら身の安全を確保できるように落ち着いて行動すること ・学校施設内の避難に適する場所を確認しておく	
	ミサイルの発射情報の後、避難メッセージが流れたら	
	【在校時】 ○屋外にいる場合 ・速やかに教室等の屋内(できるだけ窓のない空間)に避難する ・屋内に避難できない場合は、物陰に身を隠すか地面に伏せ、頭部を守る ○屋内にいる場合 ・学校施設内のできるだけ窓のない空間に避難する ・窓がある部屋にいる場合、できるだけ窓から離れる	【下校時】 ○屋外にいる場合 ・近くの建物(できれば頑丈な建物)の中、又は地下に避難する ・近くに適当な建物がない場合は、物陰に身を隠すか地面に伏せ、頭部を守る ○自動車等の車内にいる場合 ・ガソリンに引火するおそれがあるため、車を止めて建物(できれば頑丈な建物)の中、または地下などに避難する ・周囲に避難できる頑丈な建物がない場合は、車から離れて地面に伏せ頭部を守る ・車外に出ると危険な場合やすぐに車外に出られない場合は、車内で姿勢を低くして頭部を守る ・公共交通機関利用時は、運転手や係員の指示に従う
	【休日】 ○屋外にいる場合 ・近くの建物(できれば頑丈な建物)の中、又は地下に避難する ・近くに適当な建物がない場合は、物陰に身を隠すか地面に伏せ頭部を守る ○屋内にいる場合 ・窓のない部屋に移動する ・窓がある部屋にいる場合、できるだけ窓から離れる	



弾道ミサイル落下時の行動について

弾道ミサイルは、発射からわずか10分もしないうちに到達する可能性もあります。ミサイルが日本に落下する可能性がある場合は、国からの緊急情報を瞬時に伝える「Jアラート」を活用して、防災行政無線で特別なサイレン音とともにメッセージを流すほか、緊急速報メール等により緊急情報をお知らせします。

①速やかな避難行動

②正確かつ迅速な情報収集

行政からの指示に従って、落ち着いて行動してください。



国民保護ポータルサイト

武力攻撃やテロなどから身を守るために



事前に確認しておきましょう。

http://www.kokuminhogo.go.jp/gaiyou/shiryou/hogo_manual.html

—— ミサイル落下時には、こちらから政府の対応状況をご覧になれます ——



首相官邸
ホームページ
www.kantei.go.jp/



Twitterアカウント
首相官邸災害・危機管理情報
@Kantei_Saigai



Jアラート（例） 直ちに避難。直ちに避難。直ちに建物の中、又は地下に避難してください。ミサイルが、●時●分頃、●●県周辺に落下するものとみられます。直ちに避難してください。

メッセージが流れたら

落ち着いて、直ちに行動してください。

屋外に
いる場合

近くの建物の中か
地下に避難。

(注) できれば頑丈な建物が望ましいものの、近くになれば、それ以外の建物でも構いません。

建物がない場合

物陰に身を隠すか、
地面に伏せて頭部を守る。

屋内に
いる場合

窓から離れるか、
窓のない部屋に移動する。

近くに
ミサイル
落下！

●屋外にいる場合：口と鼻をハンカチで覆い、現場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内または風上へ避難する。

●屋内にいる場合：換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。

弾道ミサイル発射時の行動について

～爆風や破片などによる被害を避けるために～

「Jアラート」を活用したメッセージが流れたら
落ち着いて、直ちに行動してください

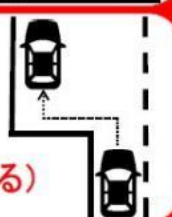
＜屋内にいる場合＞

できるだけ窓から離れるか
窓のない部屋に移動し
頭部を守る



＜車に乗っている場合＞

車を安全な場所に止め
近くの建物に避難する
(または、車内で姿勢を低くする)



＜屋外にいる場合＞

速やかに近くの
建物(頑丈)
に避難する



＜屋外にいて、近くに建物がない場合＞

物陰に身を隠すか
地面に伏せて
頭部を守る

